

宇商同窓会報

題字 元会長 佐藤和三郎

発行人：栃木県立宇都宮商業高等学校

同窓会長 和氣幸雄

栃木県宇都宮市大曾3-1-46

TEL 028(622)0488

FAX 028(627)7871

編集人：宇商高同窓会 事務局

印刷所：下野印刷株

TEL 028(622)6953

第45号

令和2年
5月22日

御挨拶

同窓会報によせて

同窓会会長 和氣 幸雄



同窓会の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より母校発展のため、格別の御支援を賜り深く御礼申し上げます。今年度より川村壽文前会長に代わりまして、同窓会会長を務めることになりました。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

母校は、今年、創立119年を迎えることができました。明治35年（1902年）に商業補習学校として開設以来、大正、昭和、平成、令和と時代の流れとともに県の商業教育の中心校としての役割を果たしており、幾多の有為な人材を世に送るなど、県の経済界をはじめ様々な分野において多くの同窓生が活躍されています。そんな歴史と伝統のある母校も来年度は、創立120年を迎えます。記念行事を催すために、同窓会一同、一丸となって準備を進めている次第でございます。皆様からの御協力を賜ることもあるかと思いますが、その時はどうぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスの脅威が増している今日、世界中でその影響が広がっております。東京オリンピック・パラリンピックの延期や世界経済への影響など悲しいニュースが続いております。また、患者数もEU圏を中心に広がっており、心配事は増すばかりです。行動の自粛等で同窓生の皆様も大変困難な状況にあると想像いたします。一日でも早い終息を願っております。

現在母校では、同窓生の皆様が築いて参りました伝統と実績を着実に受け継ぎ、時代の変化に対応しながら、今後の日本を担う人材育成に努力していると聞き及んでおります。昨年度も同窓会後援による高度資格取得講座（簿記、情報、珠算）を実施し、多くの生徒が資格を取得するなど、素晴らしい成果をあげたと聞いております。同窓会といたしましても、今後とも継続して支援を行い、在校生の育成に貢献したいと考えております。

同窓生の皆様には同窓会活動へのさらなる御理解と御支援をいただきたいと考えております。また、若い世代の活力を加え、同窓会活動がさらに活発になることを期待しております。

結びに、母校のさらなる発展と同窓生の皆様の御健康と御多幸を御祈念申し上げ、挨拶いたします。

事務局よりお知らせ

～同窓会総会中止について～

新型コロナウイルスによる感染拡大を防ぐため、7月に予定していた令和2年度同窓会総会及び懇親会を中止いたします。また、次年度の総会について、今年度お世話役（学年幹事）の平成2年3月卒業の皆様と平成3年3月卒業の皆様にご協力をお願いする予定でございます。お世話役については2ページでご確認ください。

～総会で予定していた審議事項等について～

予定していた審議事項（決算報告や会務計画等）は、同窓会長及び役員会の一任にさせていただきます。また、決算報告や詳細については次年度の総会及び会報にてお知らせいたしますのでご了承ください。

急遽、このような事態になってしまいご迷惑をお掛けしますがご理解をお願い申し上げます。

◆連絡先◆

〒320-0014 宇都宮市大曾3-1-46

宇商高 同窓会事務局

TEL 028-622-0488 FAX 028-627-7871

ご挨拶

校長 池田 和久



緑が鮮やかな季節となりましたが、同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、和氣幸雄同窓会会長様はじめ会員の皆様には、日頃から母校の発展に物心両面から多大なるご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

私は、この四月に石川理二前校長の後任として、栃木商業高校より本校に着任いたしました池田和久と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、令和時代最初となる四月七日の入学式には、新入生を歓迎するかのようには校庭の桜も満開となり、麗らかな春の光の中、全日制・定時制合わせて二九二名の新入生を迎えることができました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、四月当初より臨時休業を余儀なくされ、入学式も短縮・簡素化するなど、本来の教育活動が制限される中でスタートとなりましたが、本校は、今年で創立百十九年目を迎えます。

創立以来、栃木県の商業教育をリードし、中心校としての役割を果たすとともに、「明知・進取・奉仕」の指標の下、「情操豊かでたくましく想像力をもつビジネスリーダーを育成する」ことを目標に、教育活動を展開してまいりました。卒業生の数も三万五千名を超え、地元宇都宮市はもとより、県内外のあらゆる分野で活躍されており、これまで同窓生が営々と築き上げてこられた輝かしい歴史と伝統は、在校生にとりましても大きな財産であり、誇りとなっているものと思います。

近年の生徒の活躍も目覚ましく、先輩方に続けられ、後進に引き継がれ、学校行事に一生懸命取り組んでおります。

昨年度の全国商業高等学校協会主催の検定試験においては、三種目以上で一級に合格した生徒の割合は卒業生の約九三%に上り、一五六名が全国商業高等学校協会から表彰を受けました。全国には商業関係高校が約一四〇〇校ありますが、その中でも特に五種目から全種目となる九種目の合格者は突出しており、他校の追随を許さない素晴らしい成績を収めております。また、高度資格取得では、日商簿記一級、全経簿記上級、税理士試験簿記論等で合格者を出すことができました。

さらに、部活動においては、空手道部、バトントワリング部、珠算部、情報処理部、ワープロ部、簿記部が全国大会、レスリング部、バレーボール部、陸上部、水泳部が関東大会出場を果たすなど、多くの生徒が専門である商業の勉強や資格取得に励みながら部活動と両立させ頑張っております。同様に定時制生徒も活躍しております。全国商業高等学校協会主催の検定試験においては、定時制初となる六種目合格者を出すことができ、また、栃木県定時制通信制総合体育大会では、バドミントン女子決勝が本校の選手同士の対決となり、見事に優勝・準優勝を飾った二名が全国大会出場を果たし、さらに恒例行事となった「黄ばな清掃活動（田川周辺の清掃活動）」にも多くの生徒が参加し、地域に貢献してくれました。

こうした生徒の努力と先生方の指導により、昨年度の学校評価アンケートでは、「本校に子どもを入学させて良かったと思うか」の問いに対し、「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答いただいた保護者の割合が九三%を超えるなど、本校の教育に対し高い評価をいただくことができました。

これからも、現在取り組んでいる文部科学省の指定事業、SPH（スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの研究成果等を基に、専門教育・国際理解教育・キャリア教育の充実を図り、これまで以上に「地域から選ばれる学校」「地域から誇りに思われる学校」となるよう教職員一丸となり取り組んでまいりますので、同窓会会員の皆様には、母校の発展のため、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。